

解散機に母校に寄付

住吉中62年度卒 同期会



同期会の建金を杉山校長(左から2人目)に手渡す林代表(右から2人目)

住吉市住吉中の1962年度卒業生がつくる同期会「三七(みなよし)会」は9日、活動資金の残金15万1千800円を同校(生徒206人)に寄付した。

代表の林久喜さん(75)と副代表の四倉俊成さん(76)、幹事の石塚博一さん(76)が学校を訪れ、杉山孝一校長に手渡した。

林さんは「校舎建費の

入いた同期も欠けたり、病気がちだったりして会員は100人ほど。会をいったん解散し、残金を母校のために使おうと決めた」と話した。

杉山校長は「同窓生の母校を思う気持ちに感銘する。教壇環境の充実や教育活動のために使わせていただく」とお礼を述べた。